

会 議 録 (要約)

会 議 名	管理者・副管理者会議（第3回 建設候補地選定会議）
開 催 日 時	平成26年11月28日（金） 17時00分～18時00分
開 催 場 所	印西地区環境整備事業組合 3階 会議室
出 席 者	板倉管理者、伊澤副管理者、岡田副管理者 【事務局】 杉山事務局長、山本庶務課長、大須賀工場長、鳥羽主幹、 土佐主幹、浅倉主査、中野主査補、川砂副主査

次 第

1. 開会
2. 挨拶
3. 建設候補地の公表について
4. 議題
 - (1) 協定書を締結する関係町内会組織
 - (2) 現施設の基幹的改良事業との調整
 - (3) 地域振興事業の基本的な考え方
5. その他
6. 閉会

第3回建設候補地選定会議の要旨

1. 開会

山本庶務課長

会議開催にあたり下記事項について説明し、管理者・副管理者へ了解を得る。

- ①建設候補地の選定に関して、関係人の利害が絡む協議が出てくることから、傍聴人の入室を認めないこと。
- ②会議録公開の際には、個人の情報等を削除するなど修正を加え公表すること。

2. 挨拶

板倉管理者

前回の会議では、各候補地の現状、次期施設における整備スケジュール等を総合的に勘案したうえで、建設候補地を「吉田地区」として決定した。

本日の会議では、決定した「吉田地区」に特化しての協議を行う。

3. 建設候補地の公表について

山本庶務課長

前回（第2回）会議では、建設候補地を「吉田地区」と決定した。

この決定事項の公表については、本日（11月28日）付けとして、週明けにも組合議員にメール又はファックスで報告する。

また、管内地区の住民へは組合ホームページにてお知らせするとともに、報道機関に対しては、週明け（12月1日）に一斉通信し、必要に応じ取材も受けることと考えているのでご了解いただきたい。

それでは、まず建設候補地の選定結果について、工場長から説明をする。

大須賀工場長

説明資料は、選定に至るまでの確認事項及び考察事項を簡明に纏めたものとなっており、既に説明済みの部分が大多数であるため、概要のみ資料左欄の確認項目ごとに順を追って説明する。

確認項目①番は最終答申書における審査結果を纏めてものとなっている。

確認項目②番から⑦番については、各候補地の面積など基礎的な情報を纏めたものとなっている。

確認項目⑧番の理解度・協力度については、建設候補地の選定にあたり、特に重要な部分と考え、最終答申書から関係する内容を一部抜粋した。

確認項目⑨番の延伸リスクについては、（1）周辺住民との合意形成、（2）アクセス道路整備、（3）地区外水路整備、（4）用地買収、（5）猛禽類、（6）埋蔵文化財調査により纏める。

なお、（1）の合意形成については、同意書等が提出されて吉田地区のみが「早期の合意形成が期待できる」と評価された。

また、（2）アクセス道路については、本文の最後に「周辺住民との対話を重視しながら複数ルートによる弾力的な検討を早期に着手することが求められる」と記述した。

確認項目⑩番のごみ処理基本計画との整合について、（1）住民参加による施設整備及び運営、（2）効率的な収集運搬、（3）経済性を考慮した廃棄物処理システムの構築、（4）地域特性に応じた熱供給、地域振興、雇用創出、環境教育、情報発信拠点、防災拠点の効果にかけて纏めた。

（1）の住民参加の関係では、同意書等の提出のあった吉田地区のみが優位であるとの評価となった。

（2）以降は、各候補地で大差がないという評価となった。

確認項目⑪番の中長期的な事業展開では、（1）の長期的な事業づくり、（2）の事業用地拡張について、吉田地区のみが優位であるとの評価になった。

確認項目⑫番の総合評価について、吉田地区を建設候補地として選定した事由について、（1）用地検討委員会における各候補地の総合評点が、2位以下の候補地に24点以上の差をつける第1位であることから、建設地として大きな優位性及び可能性を有していると考えられる。

(2) 最大の課題である周辺住民との合意形成に関し、地元町内会から同意書の提出があったことは、特筆すべき優位点であると考えられる。

(3) 同意書及び地域振興策に関する提案書の提出があったことは、次期中間処理施設と共に歩む長期的な地域づくりについて、特段の優位性が認められると考えられる。

(4) 吉田地区の候補地内及び隣接地は、森林が少ないことから、里地里山への影響が比較的小さいと考えられる。

最後のページについては、用地検討委員会による候補地の記述評価を参考資料として添付した。

以上が建設候補地の選定結果として纏めた資料一式となる。

今後、この資料については、12月予定の組合議会全員協議会の議員、建設候補地選定結果報告会における住民及びマスコミに対する説明資料として用いることを考えている。

最後に管理者・副管理者へ2点判断していただきたい。

1点目は、これまでの会議で吉田地区を建設候補地として選定することで合意いただいたが、第2位以下の各候補地は、全て次点として取り扱うのかどうか。

2点目は、今後、何らかの事情で吉田地区における建設を断念せざるを得ない状況が生じた場合の対応についてどうするのかということである。

山本庶務課長

工場長から説明のあった「建設候補地の選定結果」の内容を組合ホームページ等で、市民等を含め公表してよろしいか。

岡田副管理者

公表しても構わないと思うが、もう少し事業費に関する資料を公表した方がよいのではないか。

大須賀工場長

用地検討委員会の中で比較評価の検討ということで、概算事業費の経済性の比較評価を行っており、既に公表されている資料となっている。

また、トータル的な総合的な観点で吉田になったということで、一つの要因は経済性もきちんと比較したということです。

岡田副管理者

公表された金額のとおりできるという判断なのか。

当然、用地検討委員会が検討した結果だとは思いますが。

大須賀工場長

今後、施設整備計画の中で具体的な数字は出てくるが、あくまで概算で比較する用地検討委員会の段階では、提示した金額であることをご了解いただきたい。

つまり、同じ条件の中での数字を総合的に全部入れ、経済性については、確かに現在地が一番低かった、吉田地区に関してはアクセス道路の関係まで含めても一番高かった。

しかしながら、合意形成等、多方面から総合的に見ると、やはり吉田地区が候補地を決定するうえで優位になってくるのかと思われる。

岡田副管理者

現時点で出されている概算事業費は資料に掲載しておくべきではないか。

大須賀工場長

確認項目⑩の（３）経済性を考慮した廃棄物処理システムの構築の欄に、各候補地の概算事業費を掲載することでよろしいか。

板倉管理者・伊澤副管理者・岡田副管理者

はい。

山本庶務課長

吉田地区以外の４箇所の子点という形での取り扱いについて。

また、吉田地区が万が一、建設を断念せざるを得ない状況が生じた場合の取り扱いについてであるが。

伊澤副管理者

おそらく吉田地区が断念せざるを得ない状況になったら、もう一度やり直しになる。

決まった以上は吉田でやっていかなければいけない。

山本庶務課長

確認します。

公表書類については、選定結果に一部事業費を加えたもので公表する。

また、吉田地区以外の候補地の取り扱い、吉田地区が万が一建設不可能となった場合の対応については、管理者・副管理者で再度協議することでお願いしたい。

4. 議題

（１）協定書を締結する関係町内会組織

※候補地周辺の町内会の位置関係を把握すべく300mの円、500mの円、1,500mの円を描いた図面を用意し、周辺住民意見交換会の意見や地域特性を考慮しつつ協定書を締結する関係町内会組織について検討した。

（２）現施設の基幹的改良事業との調整

※現印西クリーンセンターの基幹的設備改良事業については、次期中間処理施設整備事業との兼ね合いも考慮し検討をすすめ、どこまで修繕工事を必要とするのか、また、国の動向も注視しながら、交付金制度を活用するか否かの想定される事項や各構成市町の負担額等についても検討した。

（３）地域振興事業の基本的な考え方の整理

※「吉田区」から周辺住民意見交換会の際に提出のあった、地域振興策に対する提案資料を参考とし、地域振興事業に対する基本的な考え方を整理した。

5. その他

山本庶務課長

今後の日程確認

- 平成26年12月16日 組合議会全員協議会の開催
- 平成26年12月21日 建設候補地選定結果報告会

選定に至る経緯及び
結果について報告。

6. 閉会

山本庶務課長

それでは、本日の議題は終了とします。
お疲れ様でした。